
僕の一コマ

葉月 影

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の一コマ

【Nコード】

N4246L

【作者名】

葉月 影

【あらすじ】

『僕』のちょっとした思いを書いた短編です

(前書き)

誤字や、違和感などありましたらお知らせください、

感想頂けると嬉しいです!!

もう5月……。

ある程度クラスにも馴染めて、友人も幾らかできて色々話している。

そんな休憩時間の一コマ

誰もがそんな風に過ごして居るんじゃないだろうか。

かくゆう僕もそんな風景の住人である。

でも僕は、そのなかで物足りなさ……とでも言ったら良いのか
わかんないけどそれに似た感情を今、感じている。

それは、多分アイツが居ないから……だと僕は思う。

友達なんかと話しているとそういう風に思うことが多くなった。

今までの僕の一コマには、常に、って言っているほどアイツが居た
から……

居ないことばかりが強調されて、物足りなさが増えていく。

新しい気持ちで進まなきゃいけないのは分かってる。

でも、

アイツを忘れられないのも分かってる。

誰と話していても、アイツを求めてばかり。

アイツが居なくなってから

寂しい

大切

なんて言葉ばかり浮かんでくる。

やっぱり僕には君……アイツが必要みたいだ。

アイツに会いたいなあ……………

そんな事を思った会話の途中の一コマ

F
i
n.

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4246/>

僕の一コマ

2010年10月21日20時21分発行